

令和7年度第4回泉大津市男女共同参画審議会 議事録

1. 会議概要

- 日時:令和8年1月23日(金)午前10時~
- 場所:総合福祉センター3階 第1会議室
- 審議会委員出席者:岡崎会長、岩田副会長、加藤委員、上中委員、中下委員、山田委員、寺田委員、花見委員、國安委員
- 全10名のうち、出席9名
- 事務局出席者:(人権くらしの相談課)深澤課長、寺内課長補佐
- 傍聴者:なし

2. 主な審議内容

(1)パブリックコメントの結果

【実施状況と課題】

- 提出人数が少なく、市民の関心の低さが課題
- 市内8箇所の親子広場で子育て世帯向けに募集するなど工夫を実施
- 市民に関心を持ってもらうことが最重要課題

【社会情勢の変化への対応】

- 10年計画として、社会情勢の変化に柔軟に対応できる仕組みが必要
- 中間年度(5年目)に市民意識調査を実施し、取組を見直す予定
- 年1回の審議会に進捗報告を行い、必要に応じて取組を柔軟に変更

【パブコメの周知・有効活用】

- チラシの掲示場所など、足を止める工夫が必要
- 業務委託の仕様書にパブコメの周知活動を組み込むことを提案
- 講座・講演会でワークショップ等を実施し、日常的に意見を吸い上げる工夫
- 審議会委員からの発信・共有による働きかけを提案

(2)第4次計画素案

【主な変更点】

- 「男女共同参画」「ジェンダー平等」→「誰もが平等に」「一人ひとりがお互いを尊重し合う」など分かりやすい表現に変更
- ウェルビーイングの考え方を導入
- 表現の統一(「女性割合」「女性の割合」等)

【「にんじんプラン」の位置づけ】

- 「にんじん」の意味:「人」「人権」「参加」で人生を支える計画
- 平成7年に市民公募した愛称だが、計画内容が伝わりにくい懸念
- 「人権」「参加」をベースに広く考えることで、より多くの市民にアピール
- 「にんじん」の説明を目立つ場所(裏表紙等)に配置することを提案

【表紙とめざす姿の表現】

- 表紙:「誰もが自分らしく思いやりでつながるまち いずみおおつ」(キャッチコピー)
- 計画本編 22 ページ:「めざす姿」
- 本編の表現の方が、生きづらさを感じている人に希望を与える可能性
- 表紙とめざす姿の表現統一を検討

【計画の見せ方・広報】

- スマートフォンで見やすい概要版の作成を提案
- SNS(Instagram 等)で画像1枚で完結する投稿を活用
- 詳細データは資料集として後ろに配置し、伝えたいことを冒頭に
- 概要版を講座・講演会で配布し、説明の時間を確保
- YouTube 等を活用した広報の重要性(他自治体の事例)

【イラストへの配慮】

- 大阪府の男女共同参画イラストガイドラインを参考
- 性別、肌の色、髪の色など多様性に配慮
- 恣意的なイメージを避け、慎重に選定

(3)答申書案

【答申書の主な内容】

- ウェルビーイングの視点を重視

- 市職員の男女共同参画・ジェンダーへの意識向上の必要性
- 社会風土の醸成に向けた取組
- 急激な社会情勢の変化への柔軟な対応
- 第4次計画は大まかな方針を示し、柔軟な取組を可能にする設計

3. 今後の進め方

- 審議内容を踏まえ、最終案を作成

以上